

## 平成23年度グループリーダー会議

開催日	平成23年12月13日（火）午後6時～			
町民フォーラム グループリーダー 等	澤田元気、鈴木園子、館政ななみ、中村伸也、古一直喜			
(株)ぎょうせい	廣地主任研究員			
	企画 G 参事	鳴海 清春	企画 G 総括主査	住吉 英之
	企画 G 主事	中塚 雅史		

### ○事務局

定刻の時間になりましたので、町民フォーラムグループリーダー会議を始めさせていただきます。開会に先立ちまして、企画グループの鳴海参事から挨拶をさせていただきます。

### ○鳴海参事

それでは皆さん、お仕事が終わってお疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。今日はグループリーダー会議ということで、今まで3回の会議の中で色々と委員の皆様にご意見をいただきました。それをある程度まとめ上げまして、最終的には前からお話している通り、まちづくり推進会議のほうに提言書としてまとめ上げる作業をこれから、廣地先生と事務方と行います。その中でまた色々な形の中で皆様の方に協議等の形で整理をさせていただきたいと思っておりますので、今日についてはまず今までまとめあげたもの、それに基づいて提言書に盛り込むものがある程度整理をしていただいて、確認という形で意見をいただきたいと思っ

ていますので、よろしくお願いいたします。この後については、うちの中塚のほうから順次説明をしていきますので、よろしくお願いいたします。

### ○事務局

皆さんのお手元の方に、本日の会議資料を配らせていただきました。内容については皆さんにお示ししている内容と、検討してきた部分の整理したものとなっています。その中から具体的にという言葉がふさわしいかわからないですけども、ある程度イメージしていたものを整理してもらうことで、それを今日進めていきたいと思っています。最終的に、今回の出てきた部分を整理した内容を一度グループリーダーへ返して、それでいいのか、肉付けをするところはしてもらって、1月の下旬に町民フォーラムの参加者とまちづくり推進委員を含めて、引継ぎを行っていきたくと思っていますので、本日はその会議の為の前段の打ち合わせ等のようなことなので、あまり硬くなれば意見も出て来ないと思いますので、フリーディスカッション形式みたいな形で進めてもらえれ

ばと思います。今日の今後の司会というか、進め方の部分はぎょうせいの廣地さんのほうで進めさせていただきますので、その間に町の方から意見とか言葉が入るかもしれませんが、それは随時その場の状況によって進めていきたいと思います。

それでは、廣地先生お願いします。

#### ○ぎょうせい

こんばんは、よろしくお願いします。大変短い時間の中で前回も合わせて6つのグループで提案をしていただきましたけれども、これを町づくり推進会議の方に提言として出すということになっておりますので、もう一回この各グループが提案されたことを整理できたら、ディスカッションをしながらしてみたいというふうに思っております。一つ目は資料として、P12以降に皆さん方の模造紙に書いていただいたもの、その姿にはなっておりませんので、皆さんせっかく色付けをしてくれたり、あるいは線で結んでいただいたりしていますが、ここには項目だけ拾ってありますので、必ずしも明確にイメージが出来ない部分があるかもしれませんが、リーダーの方々には恐縮ですが、もう一回私達の確認したいことを伺いながら、あるいはグループでこういう議論をしていたんだということを少し整理させていただきたいということがあります。それからもう一つ、この6つのグループの提案というのは、もともとはこのフォーラムに参加された68人のメンバーの方々にご自分の考える定住

促進、また子育て支援というような意見を書いていただいた。それを各グループでBWを使って書き回しをしていただいた。それを更にKJ法でまとめていただいたという段取りを踏んでいますので、それを全部説明していけば、皆さん方の書いてくださった最後の提案書に結びつくわけですけれども、それが全部に見えていけませんので今日ここで少しおさらいをしながら、もう一回確認をしていきたいと思っております。それから重要なことは提案書をどう書くかというのもあるんですが、できれば短期的に実現できるもの長期的に実現していかなければいけないもの、あるいはこれはもしかすると現実的には無理だよね、というようなもの。しかし、将来的には理想論としてあり得るよねというようなものが整理できればいいのかなというように思っています。特に、この定住促進、少子化は待たなしですので、とりあえず皆さん方も役場におられながら住民ですから、住民の方が主体になって短期的に出来てその時に行政の後押しがちょっとあればできるというようなものを少し整理しながら、それから中長期的にはもう少し住民と行政が一体になって、もっと大きな力としてやっていかなければならないものと、こうなってくるかと思っておりますので、その辺も含めてとりあえず自分達で何か動くとするればこんなことが考えられるということから各グループの提案をもう一回整理を出来たらありがたいなと思っております。

もう全体の説明はぬきにすると、例えばP4のところを開けていただきますと、今まで各グループが議論してきたことということで、まとめさせていただきます。第1グループですと、このいくつかの二重丸、例えば雇用の環境ということで、男女一緒、若い人達の多い職場、休みを取りたいときに休みが取れるとか、そのためには隣町より住みよい環境をつくること、ここに米印で打ってあるのは、例えば私の意見として、生活環境の整備と雇用環境、例えばどんなことが考えられますかというようなことがあります。その下に、高校生が地元就職し定年まで働き続けられる雇用の創出というのもこのグループの中から提案されていますが、じゃあなにか短期的にこんなことが提案できるあるいはこれは短期的ではないけれども、こういうことが考えられる。というようなことを少し含めながらもう一回このP12になるかと思いますが、F（不便を）K（こうして）S（住みよい）M（まちへ）という所で、もう一回簡単に1グループからそういう流れで説明をしていっていただけたらありがたいかなというふうに思っています。それで、いったん第1グループのことで今私が気になっていることを申しあげると、米印で書いてある生活環境の整備とまたP4に戻りますけれども雇用環境、例えばどんなことが考えられますかとか、地元就職するというのは例えばどのようなアイデアがありますか、それから豊富な職種というこ

とも途中で議論されていましてけれども、本町に求められる今の業種はどんな分野だと思いますか、例えばこういうことがありますので、もし出来るならば1グループの方申し訳ないんですけども、P12とP4を見ながらのんびりでいいですから、自分達がこういうことで考えたということで、もう一回説明していただけたらいいかなと、今日資料を渡してつながりなんて難しいかもしれませんが、例えば何が言いたいかというスルメ等の商品を更に加工、活用した商品、工場の立地と書いていますけれども、そういう時に高校生が地元に残るテーマに雇用がとそういうところにもつながってきているんだろうというふうに私は理解しましたので、なんかこんなことが自分達は考えたり、短期的にはこんなことがあり得るんじゃないのと思いつきでも結構ですので、何か教えていただければありがたい。

#### ○事務局

いきなり資料を渡してパッと出て来にくいとは思いますが、とりあえずリーダーとリーダーじゃない人もいますけれども、話の中で具体的にこうやって話していたなということと、そこがなければイメージの部分を説明してもらえればと思います。

#### ○1グループリーダー

まず、1番上の雇用環境の部分の隣町よりも住みやすい環境を作ること、ということで生活環境の整備と雇用環境例えばどういうこと、とあるんですけども、この中のP12で言いま

すと、これが定住なり少子化の方にもつながって来るんでしょうけれども、例えば一番真ん中の基盤整備の部分で町外から来た人への住居の斡旋だったり、引越しの為の手助けという部分があるんですけれども、こういうのは他の町にはおそらく無い。企業とかであれば、引越しの際の手当てとか出るんでしょうけれども、実際町からは政策としてはないでしょうから、まずこういう部分でも来やすくなる、外から入りやすくなるということもあるでしょうし。

#### ○ぎょうせい

例えば今のところで、凄く重要なことだと思っただけで、町外から来た人が住みやすい。特に若い人たちが住みやすい。そのとき、今はないからこんなものを利用すれば、こんなことを考えられるという例えば何かありますか。

#### ○1グループリーダー

うちは今100件近いほどの空き家が現在ありますので、そういう状況では受け入れる場所はあるんですけれども、それを例えば所有者から了解を得るだとか、手直ししなければいけない部分も大多数なものですから、そういう部分で詰めているかということと全然まだそういうところはないと、ただ活用する資源は町内にはみえるということです。ただ、その部分をしっかり捉えていない部分もありますし、推し進めるだけの施策も今の所はないというのが現状でして、そういう意味でまだこの部分は受け入れ態勢

を整備するところから始めなければというのがありますね。

#### ○ぎょうせい

たぶん僕は凄く重要なことかなと思うので、それはどこかで提案するといいかんと思うんですけれども、実現するかどうかは難しいと思うんですけれども。今空き家が例えば100件程度あると、それが現実的に借りられるかどうかは別だけど、それは調査してみれば、実態を少し確認してみれば貸してあげるよという人がいるかもしれないし、あるいは手直しがなければ住めないところ、コストがかかるかかからないかということも含めて考えれば、これは比較的そういう環境を整えようと、まずその実態から始めようよとかそれを確認しておくことが重要じゃないかと、開けっ放しにしておくとか朽ち果てるだけかもしれないですよと、そういうふうにつくりあげればね。なるほど、わかりました。

#### ○1グループリーダー

次に雇用の環境なんですけれども、これは下の高校生の部分ともリンクするかと思うんですけれども、やはり今現在の状況では町内の企業事態も資金面で余裕があるわけではないので、切り詰めて雇用をしている状態。一人でも多く地元の高校生を使いたいんでしょうけれども、その分の経費を捻出するのに大変だということを考えると、やはり一時的にでも高校生を使ってもらった何年かは町から人件費を何割か補助して、3年なら3年の間に企業でしっかりと歯車になっ

てもらおうような人材にして、その後は企業で回していってもらおうと、しっかり一人立ちするまでとはいいませんけれども、ある程度そういう部分で補助なりをしてあげることで、今よりは受け入れ態勢、受け入れやすくなるのかなと思います。定年まで働き続けるとなると、もっと大きな部分で話をしなければならぬのでしょうけれども、まず地元で就職をしてもらおうということが大前提ですので、そういう受入を企業にバックアップできる体制があればなということではあります。

#### ○ぎょうせい

他の人もどうぞ意見があったら聞いてほしいんですけども、地元の企業は月5000円なら5000円の補助ができれば雇うだけの仕事量だとか、環境があって、人手がほしいのですか？

#### ○1グループリーダー

やはり、うちは商業高校ですけども、パソコンなんかもすぐできますし、そういう面では使っていていいという話は聞いています、ただやっぱり今まで使っていた人ですら切ってきた状態、それだけ経費的な資金面でも苦しい状態にあります、そういう政策があれば一人二人でも残って定住、出て行く一人二人でも止めることができるというのが、それが定住にもつながりますし、のちのちは少子化の方にもつながっていくことだと思います。

#### ○ぎょうせい

例えば、いきなり福島商業20人卒業するから20人全員が町内という

意味ではなくて、それも将来的にはあるけれども近々は数人でもいいからそういう形で若い人が残るようにということなんですね。分かりました。

#### ○7グループリーダー

その関係で私も考えていたことがあったんですけども、私達の7班でも雇用の問題とか出ていて、企業誘致と簡単に話をしたんですけども、実際にするとなると経費もかかるだろうし、現実的じゃないだろうなと考えていて、班の人にもまだきちんと話はしていなかったんですけども、そうじゃなくて地元の隠れた雇用をきちんと出せば何かしらあるだろうということと、企業側ではなくて、高校生なら高校生になにか発信をしなければならぬなということで、福島町だけに限らずにこの4町とかで、例えば職安であれば色々求人を出していますよね、だけれども私は函館に住んでいて思ったんですけども、函館の職業安定所というのは、函館の近隣がメインで福島町の求人を見たときに、いつのものが分からない昆布干しが秋にあたりとか全然リアルタイムじゃないんですよ。高校を卒業する時も、求人は函館近辺ばかりなのでそういう職安みたいな斡旋をするようなところを設けてあげる、そうするともしかすると福島町だけではなくて近隣の町でも、実は人を雇っているけれども内々でその知り合いに声をかけて使っているというところを、もっと広く募集して、なおかつ1グループのリーダーが話したようにそこから

人を雇ってくれると、助成金じゃないですけどもそういうのもあるよという優遇するようなものもあれば、地元高校生も来るし、町外に今居る人達もそこを見れば分かります、それで福島やここら辺に来たいとなったときに、職がまず見られるから色々調べたり出来るかなと思っていました。

#### ○ぎょうせい

そうすると、例えばさっきお金を補助すればというようになりますと、今おっしゃったように隠れた地元での雇用ニーズがあるかも知れないということを含めて考えれば、5000円を抜きにしても、もしかすると何か手立てがあるかもしれないですね。その地元で就職する方法。それはどうですか、1グループのリーダーとしてはやっぱり資金的な何かがあった方がなお。

#### ○1グループリーダー

基本的には、行政的に出来るのは金銭的なバックアップか、もしくは施設を建ててあげて使ってもらおうかというところになってくるかなと思うんです。あとは、窓口業務とかは別ですけども。

#### ○ぎょうせい

できれば、この場では役場の職員だから役場が何かしてあげなければいけないというのは1回抜きにして考えていただけるとありがたいかなという気がしますね。というのは、一般的なことを言ったらこうなんだけど、もしかしたら役場だったらこれができるとその後においた方が。だとすれ

ばやっぱり役場で考えて5000円くらい手当てを出してあげればもっといいんじゃないの、とかってなった方が分かりやすいかなという気が、どうでしょうかそのへんは。

#### ○1グループリーダー

隠れた雇用というのは現実的に今生み出せないからこういう状態になんですよ。

#### ○2、4グループリーダー

隠れた雇用というのは、昆布干しとかというのもあるのは分かるんですけども、全部短期の話じゃないですか、結局若い人は定職を求めて町外に出ちゃうんじゃないですか。

#### ○7グループリーダー

私が今、税務グループで職のやつとかを色々見ているからだと思うんですけども、各業者さん使っているけれども、やっぱり入れ替わりがあったりするんですよ。そういうのを見たりしていると、もしかしたら。それは福島町だけの話なので、それを他の町でも見てみれば凄い数ではないのかもしれないですけども、逆に都会からこっちの方に来る人というのは仕事があるか分からないし、見えないというのがあるから、それを見えるようにしてあげればいいのか。それで更に職安とかであれば若い人ではないですけども、高齢者の人をある程度何人から雇えば助成金があるとかがそういう制度もありますので、それと似たような感じで、もしできればいいのかなと。

#### ○事務局

あと少し発想を変えて、例えばP4のところに、20万が自立できる最低限の収入だと、そうしたら20万を生み出す仕事ってなにか、それを作れるかという話をするのも一つ。例えば隙間を見つけてやるということはたぶん誰かが辞めなければ、基本的にはそこには入っていけないわけですよ。たぶん新しい収入がなければ事業者は雇わないわけで、収入が倍か例えばヒット商品が出るとか、それでなければ退職して誰かが抜けたからそこに埋めるという、今その所も必要なのかもしれないけれども、例えば福島の町で、漁業で6億の水揚げがあると。そこで何人生活が出来るのという話をしたときに、例えばそれを10億だったら何人だよという話をすれば、その10億を生むためにどうする、ということも。要するに雇用を創出するところに書いているんだけど、どうしたら創出できるかということは、ようは新たな職場を作るか、今のその水揚げを増やす方法も一つだろうし、全く新しい産業を興すのも一つだろうし、そういった面もなければ、なかなか隙間だけではやっぱり新規雇用というのはきついのかなという気はするよね。だからその中で資源を使って何か出来る方法はあるのかとかそういう目も向けていかないと、確かに斡旋したり、色んなことができる。だけど結果的に働く場がなければそういうシステムを作っても収めるところがないわけですよ、だからまず収めるところの必要性も整理して

いかないと。単純に今の福島町の生産キャパの中で何人雇用できるかという話ですよ。例えば昆布一つをとっても、昆布を10株やると1000万の水揚げが出来るとするでしょ、それでも若い人が付かないというのもあるでしょ、それはなぜなんだろうとか例えばそういうところから。そういう場所があるのに若い人が働かないというのも一つあるよね、後継者がついている所もあるけれども、その余力はまだあると思うんだよね。そのところで何かをしてあげると若い人が後継者になる可能性がある。今の状態だと労働がきついとか、やれちょっとあれだとか色々あるけれども、そのシステムをちょっと変えて会社みたいにしてあげると、俺やってみるかなという人が出るかもしれないですよ。そういう発想も必要かなと思うんですよ。

あと、NPO 法人という、新たな起業というかそういう部分が今うちはまったくないので、制度というかそういう部分で具体的に何をやるというのが今の時点では見えない部分があると思うんですけども、今後の企業という格好になればそういう方法もあるのかなという。

#### 〇ぎょうせい

僕がさっきすごくいい提案が出たと思ったのは、空き家が100件もあるんですよ。実際に使えるかはともかくとして凄くいい地域資源ですよ。空き家って皆邪魔者に思うけれども、本当は空き家って凄く重要な資源、上

手に仕組みば何にでも使える。そうすると、せっかくその雇用環境をどこかで創出したいという時に、それらを全部含めていくと、たぶん次から説明したかったところなんだろうけれども、さっきおっしゃったように20万円というものがあるとすれば、そういうものがからんでいった時にさっきのNPOもそうだけれども、それ以外に若者向けの飲食、飲み屋があればいいとなった時にじゃあ地元の産品を使って何か、というのがその100件を若い人たちが活用するという前提で考えて、それは寝泊りの場合だよ、でもそれを考えていくと次に進めるのが、この1グループの中からさうとう大きな、短期的にすぐ手を付けなければならない事がみえてくるのではないかという気がしたんですよ。その時に、例えば企業が一人雇ってくれば5000円と。その5000円は他の事で考えればというのは、5000円をこっちにおいておけば、その5000円はこういうところに投下すればいいじゃないですかとか。そういうことも含めてもう少し、説明を途中できっちゃって申しわけなかったんですが。

#### ○1グループリーダー

結果的には、若者の定住が進まないというのは食べていけないという収入面の部分が多い。だからうちは一次産業の水産の町ですけれども、その部分が若者にまず見えていないというのが大前提。養殖昆布でまともにやると、1000万の売り上げが出る。十

分に暮らしていけるけれども、労働面だったり金額面でこんなに水揚げがあるんだよというPRが出来ていない。やっぱり一次産業がしっかりしていて、十分に食べていける部分があれば、自然と後継者というのは付いてくるわけです。だけれども、今うちはそういう状況にない。だけれども水揚げはあるんだと、だから逆にこういうマニュアルでこうやってやるとこれだけの水揚げが上がるんだよ、というものも示すのもやっぱり方法が無いよりはマニュアルがあってその通りやった方が楽ですから、そういうものを作っても面白いのかなとか、そういうのもあってもいいのかなと思ったりしています。それによって自立できる収入というのが目に見えてくるのかなというのが一つです。あと、3つ目に書いている、若者が好む3K以外の仕事となっているんですけども、その部分は1次産業を考えるとなかなかこれはきついのかなという部分があります。だからそれを越えるだけのメリットをPRできれば、この部分は解決していけるのかなという気はします。

#### ○ぎょうせい

無理につながらなくてもいいんですよ。それはそれで、例えば1000万という一つの仕事として考えれば、年収120万でいいのとかっていうのもあるわけです。

#### ○1グループリーダー

あと、手取り20万というのは、はっきりした根拠は出ませんでした。た



だ単純に20万くらいあればいいなということですから、ただ逆にこれだけの1ヶ月手取りがあればいいということなんですよ、だからこういうものも一次産業でつなげていければ、何々をどういう漁法をやれば1ヶ月20万を確保できるのかというのも考えていければ、なんか一次産業ばかりであれだけでもそう思います。自立して暮らせるための、町の経済的補助、これは一次産業の部分だけではなくて、全体を通してやっぱり若い年齢層は給料面でも安いですから、その部分で若干でもバックアップできればという部分で出したので、具体的なものというのは何もなくて、ここは単純に支援という形でしか考えていませんでした。あと、豊富な職種という部分ではうちの場合は海もあったり、山もあったりということで、自然には恵まれていて、地域的な部分で不利があるということで、函館からもちょっと遠いというイメージはあるんですけども、逆に道路でつながっているということを取ると天候に左右されずに接続は出来る環境にはあるんですよ、私は海士町に行ってきたんですけども、時化るとまるっきり孤立してしまうという部分を見るとそれよりはずっと優遇されているというか、戦略が練れるのではないかという可能性を感じましたので、そういう面では水産のもの、今はっきりいって農林業が全然構築されていないという部分があるので、そういう未利用の部分を上手く活用するとそれで新たな

雇用も生まれてくるのかなという部分はありますね。

○ぎょうせい

---

そうすると、さっきの大きな農業でなくてもいいんですけどもね、要するに地産地消というふうに考えれば、空き家でそういういわゆる簡単な野菜とかあるいは適度なものを作るような場所に空き家がまとまっているような所もあるのですか？

○1グループリーダー

---

現状としては、ぽつぽつと点在している状態なんですよ。

○ぎょうせい

---

それは点在している周りに農産物こういうものが出来そうな土地というのはあるのですか？そういう所はない町中に空き家があるのですか？

○1グループリーダー

---

町中にもありますし、離れたところにもありますので、活用できる件数はおそらく何件かはあるかと思います。畑とかもありますから、色々法律とかを考えなければそういうことは活用できるんだと思います。

○事務局

---

学校とかもありますよね。

○1グループリーダー

---

学校も今若干使っていますけれども、そういう部分でもできるのかなと、一番私が可能性を感じているのが林業なんですよ、うちは93%が林ですから。何も財としても出していないし、そういう部分でこれから一歩二歩進められれば。

○ぎょうせい

---

ここの1グループの提案書の中には林業の話はどこかでできましたか。

#### ○1グループリーダー

出てきていませんね。財として出せないことはないんです。ただ利益が生まれないということを言われているので、ただ別に利益が生まれなくてもちよんちよんでもいいと思うんですよ。

#### ○ぎょうせい

だってそうだよ、福島の特産品は僕がいきなりこんなことを言ったら失礼な話になっちゃうけど、イカとか昆布ってそれは重要だから育てなければいけないけど、それだけでいくとキツイよね。

#### ○1グループリーダー

だから、その植替えも兼ねて伐採した中で、ちよんちよんで雇用を回すという仕組みがあれば、今よりは雇用も若者定住も進むのかなという気はしています。ただここの中でいくと企業になるんでしょうか、きっと企業しかないですよ。

#### ○廣地先生

ここをあとで変えるにしても今いきなりこれでいかななくてもどっかで整理すればいいので。そうすると例えば、地元の木材活用・林業活用というのをどこか一項目ここに加えておくといいかもしれませんね。

まだ、他の説明もしていただかなければならないので、少しスピードアップしながら。

#### ○事務局

福島は耕地自体が少ないので、ほと

んどさっき言ったように90%が森林というか脱木も入れてなんだろうけれども、要するにそれも有効活用できるかという話なんですよ、だからそのところを出し場所が悪くて利益が生まれなくても、雇用が生まれればいいんですよ、行政として。民間と違ってと言ったら失礼ですけども、民間はそこで利益を生んで商売にならなければ出さないんだろうけれども、行政としてそこで出す人のために賃金を払えるだけでもいいのかなという気はしないではないですけども、そういうものでできるのであれば。

#### ○ぎょうせい

それは、若干ここのグループの提案書の中にも木材の話、林業の話をどこかに入れておくといいね。

#### ○1グループリーダー

ちょっと書いたのは、そっちは触れていなかったんですけども、木育の導入という部分で、これがそれを伐採したものを使ってこれで町の材を使いながら、うちは製材所はないんですけども、もしかしたら例えば20年これから仕事が続くとなると、来てくれるところもあるかもしれない、また起業する人もいるかもしれないということで、木育の導入とこれは簡単に書いているんですけども、そういう意味もあるんですよ。

#### ○事務局

あと、木育だったら体験交流みたいなものにつながって行けばいいですよ。

#### ○ぎょうせい

なるほど、それじゃあやっぱり木育も含めて重要な一つとして足しましょう。それから、私が米印を書いたのは、全部言っていたかなくてもこの間まとめているときにこんなことを考えられないと言ってここに入れてあるのならそれはあえて説明していただくかなくても、ポイントを説明してくださいとすればとりあえずは、短期的に手を付けていくような視点から。例えば、子育ては遊ぶ場が吉岡地区はないとか、それぞれがもった環境の役割と違って出てきたのがあったものですから、例えばこのP12の中でいくとこういうイメージがこの中で入っているというのが何かあれば。

#### ○1グループリーダー

まず、この働けないという部分でP12にあるのは、これは企業の部分で託児所を作るということで、そういうのがあれば雇用が生まれるし、お母さん達も働けるのかなという部分で。そこに子どもを預けることで、お母さん達も働きに行けるという部分が出てくるのかなと思います。子ども達が安心して遊べる公園、これは実際に吉岡地区なりで遊ぶ公園がない、あるんだけど整備がしっかりとされていなくて危険で遊ばせられない。また、昔は各町内会で一つくらい公園があったんですけども、今は子供達も少ないので複数で遊ぶ場がないということがあって、そういう意味ではある程度集約した部分で遊ぶ場をちゃんと作ってあげて、コミュニティを作っていくという形も必要なのかなとい

う気はしています。

それが、遊びの場というところの吉岡、福島両地区に遊びの中心となる公園だったり児童館、という部分がそういう所に含まれています。

この児童館というのは大人も子供も気軽に集まれる場所という部分にもつながるのかなと思います。

若い男女が出会える場を作ってほしい、これはちょっと苦しいんですけども、若者向けの飲食店だったり飲み屋さんがあれば、自然と元気のある若い人たちが出てきてその場で、そこで出会いが生まれるのかなというのも考えました。

#### ○ぎょうせい

これは凄く大きなテーマだよね、さっき僕がちょっと気になったのは、託児所を作ると、託児所で働くお母さんも当然何人かいるよね、でもそれ以外のお母さんが雇用し、働きに行けるよと、でもそのお母さん達が働きに行く先というのは現実にはないわけだよね、あんまり。そうすると、逆に言うとそこのところで今度は若者が出会える場を作るという時に、お母さん方が何かそれこそ大きく稼ぐとかではなくて、出会いの場というのは何もイベントだけが出会いの場じゃないから、というようなことにつなげていかなければならない。

#### ○1グループリーダー

そうですね。そういうお母さん達ももしかしたらいくつも集まってNPO的な組織を形成してくれば、受け皿となってくれるかもしれないというこ

とが考えられますね。保育サービスも利用者に合わせて預かる時間を決められるとよい、というこれはおそらく、燐町も含めて何処でも同じテーマをもっていると思うので、うちでこれを手がけることによって、もしかしたら福島の方が過ごしやすいからということでも来てくれるかもしれない。そこに受け皿が、住める場所があれば、なおさら来やすいのかなと。うちは4町でもだいたい真ん中にありますので、ここから燐町に通ってもらうというベッドタウン的な考えも、もしかしたら出来るかもしれないということも。

#### ○ぎょうせい

そうすると、1グループのことを考えて言うと、ここで勝手に整理してしまうのは申し訳ないかもしれないけれども、いったんは若者たちが働くために住めるところ、空き家活用という視点から全体を広げていけばいいと思います。

#### ○1グループリーダー

そうですね、今現在受け入れ先がないという状況なので、受け皿を作ることがまず第一歩なのかなという気はしますね。

#### ○ぎょうせい

出会いの場というのは何が出会いの場なんですか？

#### ○2グループリーダー

この間のクリスマスの商工会主催で行われたのも結構人が集まったという話なので、ああいうのが定期的であれば行く人は行くんじゃないかなと思います。

#### ○1グループリーダー

あとは、うちの班で様々な趣味のサークルがあれば、普段知り合うことのない人と交流が出来るということで。これも出会いということで。

#### ○事務局

あと、意見を一つ聞きたいんですけども子供たちが安心して遊べる場所だとか集える場所という言い方をしているんだけど、それってお母さんも含めてという意味なんですかね？お母さんも子育てに悩みながら、昔みたいに家族の中に子育ての先輩みたいなのがいてやっているのとは今は違って、核家族化になってきて近所にも子どもがなかなかいない状況の中で、そういう悩みを話合える場所というのが子どもも含めて自分もという意味で捉えていいのだろうか。

#### ○1グループリーダー

少子化という部分は産むということだけじゃなくて、産んでから育てるという部分まで考えたんですよね、それが一貫して少子化の対策だと考えたので、ただ産める環境を整えるんじゃないかってちゃんと周りで安心して育てていけるという部分も考えたときに、やっぱりそういう色んなお母さん達と知り合って話をする、コミュニティという場が必要なんだろうなということを見ると、公園が手段の一つだったり、児童館が一つだったりということでそういう部分を含めて少子化という捉えをしたんですよ。

#### ○ぎょうせい

今重要なことで、産み育てるという

環境が少子化ですから、これは大都市だと託老所が子育て対策になるんですよね、なんでかというとな寄りの行き場がないから皆閉じこもりになっちゃうと、でも年寄りが出て来て、牛乳が飲める何が飲めるというサロンを作ったと、町カフェを。そうすると、今度はそこに通りかかったお母さん達がどこかへ行きたいときに隣近所のおばあちゃんがいるから、うちの子供達がここで遊んでいると。その間にお母さんがどこか買い物に行ったり、あるいは病院へ行ってくるとか何かをしていると。そうすると、自然におばあちゃんが独居だったのが、そこで子どもと会えるとかというそういう意味では町の中に交流できる子どもの遊び場兼育児策も含めて。

#### ○事務局

うちの福祉計画の中に、一応そういったものが入っているんですね、おしゃべりハウスというところがまさにお年寄りと子供と、そこにボランティアでもいいんだけど雇用が生めればいいかと、要するにお弁当を作ってあげたり、色々な話をするというのがあるので、本当はそういったものが現実的にできて、その拠点になってある程度こういったものと絡めば本当はいいんだけど、だから既存の計画を活用しながらやっていくと現実味があるんだろうなと思いますね。

#### ○1グループリーダー

どうしてもやっぱり少子化対策と定住はリンクするものだと思うんですよ、だからこういうものがみえてく

ると、隣町からでももしかしたら、私福島の方がいいわと、色々な面で育てていくのにいいよということで広がっていけば自然と若者定住も進んだり、生まれる子どもも増えていくでしょうから、そういう一つのことじゃなくて全体のサイクルとして考えた場合にこういう形成がいいかなと。

#### ○ぎょうせい

もう一つ教育のところ、新たな特化した学校とかスポーツ少年団、子どもの習い事、さっき部活動の話があったんだけど、この教育の所は大きなテーマには特にはなっていないかなとですか？

#### ○1グループリーダー

ちらっと話になったのは、新たに特化した学校づくり、これはうちは相撲の町ですから、相撲という部分が出たんですけども、とにかく今子供が減っている中で他のところと同じことをしては、魅力は生まれえないということを見ると、極端な話3人目の横綱を作るということで、専門家を呼んでやると、もしかしたら九重部屋に入門したい人はこっちにわざわざ来てというのも考えられるのかなと。あと、スポーツ少年団への助成は単純に金銭面で大変だという声があったので、出てきたものだと思います。あと、子どもの習い事という部分では、やっぱりこういう田舎になると、習えるものが決まっているというのがあるので、そういう面で子どもを持っている親の方が色々な職種の習い事をさせてみたいという希望の中でこれが出

てきました。同じように部活等も子どもたちに色んな選択肢を与えたいということの中で出てきたものです。

#### ○事務局

だから、P12にある全国から集めるというのはいいと思うんですね。たぶん、今うちの高校存続が20名を切ると学校自体がなくなる危機にあるんですけども、たぶん今の生まれている数からいくと、町内だけではまかなえないのは5年くらい先には目に見えているんですね、全く町内の子どもが100%入っても高校が存続できないような状況なので、そういった意味で音威子府みたいに全国から集めて、結果的にそれが例えば寄宿舍に入ったり、例えば町内にアパート住まいするとかそういうものが反対に新たな働き場所というかお母さんがたの下宿先を考えると、そういうのも一つの手としてあるんだと思うんですね、そういったお金が町内の商店に今度循環して回っていくわけですからね。

#### ○1グループリーダー

ここの部分は新たな学校と書いてありますけれども、ここは商業高校の存続の部分なんです。やっぱり商業高校を残したい、小学校中学校はおそらく必ず一つずつは残りますけれども、高校は地元に残るかどうかわからないのは決まっていなくて、そういう面では商業高校をとにかく他にはないことをやって、外から人を呼ぶという思いがあって書いていると。

#### ○ぎょうせい

わかりました。せっかくだからテーマに考えてもらいたいのは、総合型地域スポーツクラブというのはご存知ですよ、全国で国がやっている。この仕組みというのは、何もスポーツをやる場じゃない、スポーツというのは運動だと思っているけどそうじゃないんですね、我々ヨーロッパ含めて各国みてもくと、日本で私が地域総合型スポーツクラブを推奨しろと言ったのは、そういうコアになったところで小さい子どもから大人までが、障害学習、障害スポーツをやる場所をつくったらどうかというところから始まっているんですよ、それが都会に行っちゃうと皆がスポーツをやるクラブみたいになっていきますけれども、福島町みたいなところだったら、そうではなくて地域総合型スポーツクラブを使って習い事をやるとか、あるいは高齢者の健康づくりをやるとか文化芸術をやるということが出来る、そうするとこれは何かをやれば、国からの補助を使ってこういう町おこしをやりますということになっていけばできる可能性があるんで、ここのテーマはいきなりではないですが、頭の隅に置いていただいて。

じゃあちょっととばして、2、4グループいいですか。

#### ○2、4グループリーダー

2、4グループなんですけれども、短期的に出来ることということで2、4は途中から合体したのでそれぞれだと思っただけなんですけれども、さっき1班と

か7班が言っていたんですけれども、雇用の情報をもっと発信するという  
ことで、町外から見ても分からないし、福島から通えるという場所では知内、  
松前も通勤距離圏内ですので、それらの雇用情報と一緒に福島から発信で  
ければ、どこどこに行けば福島の近隣の雇用状況が分かるというもの、わ  
ざわざハローワークまで行かなくてもタイムリーに分かるというものがある  
れば一番分かりやすいのかなというふうに思いました。

#### ○ぎょうせい

これはひとつ面白いなと思ったのが、いいですか一つお伺いしても。雇  
用の場の中で、子どもを保育所に預けている間に奥さん達が働ける場がほ  
しいというのはその預けた奥さん達が働いているという意味でしょう、と  
書いてあるんですよ、例えばそういうお母さん達はどんなところでお母  
さん達が活躍をしてくれたらいいなと思いますか？

#### ○2、4グループリーダー

保育所に預けている間にお母さん達が働ける場がほしいとは書いてあ  
るんですけれども、保育所は前提としてお母さん達が働いているのが条件  
ですので、預けたいとは思いますが、やっぱり夜5時には家に帰りたいとい  
う人が多いと思うんですよ、となれば午前中だけでも働けたりとか午後  
だけでも働けるようなパートでもいいので、働いているとすれば昆布だ  
ったりとか、製品工場とか。やっぱりそういう時間にあまり制限が

ないようなところ。

#### ○ぎょうせい

うちで水産加工場があるんですけども、うちはどっちかというところスル  
メ加工なので、あまり若い人向きじゃないんですよ、ただ森町辺りにいくと  
ニチレイフーズみたいに冷凍系のものだと意外と若い人が働きやすいとい  
うか、結構手軽にパート的感覚でいけるんですけれども、うちのは若い人  
がなかなか。本当はイカの加工の部分があると、意外とそういうところだ  
ったらそんなに嫌わないでいけるのかなと思うんですよ。うちの加工所は  
一次加工の方だから、生から割く方が中心で乾いたのを綺麗にする方だと  
若い人は抵抗感が無いんだと思うんですけれどもなかなか。だからそう  
いった仕事場がもうちょっとあればいいと思うんですけれどもね。

#### ○6グループリーダー

そういうことでは加工所とか黒米とかそばとか昆布とか、今は原材料と  
かそういうものしかないの、それを商品化とか別な形にできればいいの  
かなと思います。

#### ○事務局

例えば昆布でも、自分のところで干した物を出荷しているんですよ。例  
えば加工屋さんがあつてとろろ昆布を作るとか、昆布飴を作るとか何でも  
いいんですけれども、そういったところがあると、若い人向きなんですよ  
ね。どうしても1次加工中心なので、なかなか若い人達が好まないんですよ。

#### ○ぎょうせい

僕がここで凄いことを考えているなと思ったのは、保育所というように考えると、今は働いていないと保育所には預けられないと、でもそういうお母さん達は働く場が出来ると保育所に入れるのかもしれない、そうだとするとその下にファーストフードがあって、若い人が働きやすいとか出てくるじゃないですか、その上にそばとか黒米なんかがあるから、ファーストフードというのはマクドナルドが来るのがファーストフードじゃなくて、そういうことも含めてなにか考えていたのかなという気がしたもんだから。その仕掛けはなにかというと、例えば、福島町で料理教室がどこかでやっているじゃないですか、それからホームページを見てもレシピが出ているじゃないですか、ああいうものを外に見えるような形でどこかでやってみて、例えば空き商店を利用してそういうのを作るとか、それは今度出会いの場にもつながるし、合コンの場にもつながるし全部つながってくるような最初はそんなに大きく考えなくても、このレシピを利用して黒米を利用してイカを利用してソバを利用してという小さなまず自分達でどこかをやっていけば。これはすごく全国で今成功しているのは、大きくなると公設市場なんですよ、三坪ショップがずっとつながっている、学校の休校施設を使うとか、あるいは町中の空き店舗を使ってやるというのは、言葉を変えると公設市場なんですよ、これは都会でも地方でも流行っている仕組みだか

ら、そんなイメージがこの中にあるのかなという。

## ○2、4グループリーダー

---

奥様達に限らず若い人が働きたい場所と考えれば、やっぱり綺麗でさっき3Kも出ていましたけれども、お金をもらえたら3Kが付いていても全然働くと思うんですよ。ただ、若い人がちょっとパートだけで働くとなればやっぱり綺麗なところなのかなと思って、ただ具体的にその内容というのは、昆布から何かにもた加工をする工場があっても、やりやすいのかなと。

## ○ぎょうせい

---

ここも高校の話が出来るとはならないですか。

## ○2、4グループリーダー

---

そうですね。うちのグループにもちょうど福島商業卒の子と、福島から他の高校に出て戻ってきた人がいたので、やはり内容的には普通科があればよけい選択肢があるという話だったりとか。

## ○鳴海参事

---

特産品の加工場ってあるじゃないですか、これとこの下というのはつながってもいいと思ったんですよ。今言ったように、そこでなにか働く場所が出来ればいいですよ。例えば今やっているウニの塩水パックでもいいんだけど、今組合でやっているけれども、例えばそういったものを加工センターみたいに作って、もう少し何十人も働けるような場所になればいいんだよね、本当は。今は何人かでやっているけれども、それがイカだった



り昆布だったり。

## ○2、4グループリーダー

---

あと、そば自体の生産量もあれなんですけれども、そばの干すところだってもうちょっと広げられたら生産も上がるんだろうし、そばの販売するところももうちょっとできれば、作る人がいればの話なんですけれどもね。そこでウェイターさんをやってもらっても短時間だけでもパートという形でも若い人は働きやすいのかなと思います。

## ○ぎょうせい

---

これも間違えていたらごめんなさいけれども、せっかく千軒そばがあっても、私がホームページとか色んなのを調べていくと、年々千軒そばがどんどん小さくなっているイメージにしか見えないんですよ、そうすると特産品をどっかで増やそうといいながらやっていたものがどんどん小さくなっていくのはなんか。せっかく町民も行政も頑張っていたのに。ということがあったから、そういうことをここで雇用の場というところからいくと一つそれと、ここも昆布がお金になるということが書いてある。

## ○2、4グループリーダー

---

そうですね、私も昆布はわからないのであれなんですけれども、毎月の収入ではないとは思いますが、昆布は年収にすると稼げるというのを私も知らなかったし、他の人から聞いて知ったので、そういうのを高校生なり町外でもそういう人に伝えれば、昆布をやる後継者ができるのかなという、そ

れが高校生だけじゃなくても、水産の大学生だったりとか、大学生は分からないと思うんですよね、昆布の製造的には分かると思うんですけれども、経済的効果がというのをもうちょっとアピールしてもいいのかなと思うところが、雇用の場とアピールがくっついたところだと思います。

## ○ぎょうせい

---

そうすると、この2、4グループの中の同じ雇用の場でもさっきの一つに住まい探しと両方ありましたけれどもこっちはそれよりもまず新しい、産業の場を今あるものを提案してこんなことが出来るんじゃないかとした方がいいかもしれませんね。将来的には大きなところへいくけれども、今は今ある資源を活用しながら働き手として重要なお母さん方、若い人達をもう一回活用するという姿に書きかえると。

## ○2、4グループリーダー

---

そうですね。なので、アピールにイカをおしても人は来ないと思うと言っていた人がいたので、生イカをおしてもなかなか若い人はくっついてこないということが言っていました。

## ○ぎょうせい

---

福島町では今一生懸命勉強会をやっているから、それが成功すればいいんですけれども、日本全国イカは取れるじゃないですか。

## ○事務局

---

日本で食べられる惣菜の中で、イカが一番なんですよね。

## ○ぎょうせい

---

そうですね。イカはこの人はどうやって食べるんですか？

○1グループリーダー

刺身です。ましてや新鮮なイカしか食べないです。

○ぎょうせい

そうですね、それだったらちょっと難しいですけどもね、普通は地元の人が食べるのは本当にいい物は外に出している。それで、自分達はあまり物を食べる、だけど日本全国イカだから、皆イカは地元で何かやって、大量にあるとスルメをやってみたりせいぜい塩辛にしてみたり、なにか他の食べ方がここにあったら素晴らしいなと思って今よけいなことを聞いたんですけれども。

○1グループリーダー

逆に新鮮なものしか地元では食べないんだから、ナノバブルとかを使って本当は出せばいいんだよね。ナノバブルというのはパックにイカを入れて、空気をやってそれに入れていると何日ももつんですよね。それを本州とかにやっているところもあるんですけれども、うちでもできないことはない。ただ最近では絶対量のイカが少ないから。

○ぎょうせい

あと、申し訳ないけれども、この金銭的な支援というのは提案書の中で、私の気持ちとしては町で何とおっしゃるか分かりませんが、こういうものがあればいいという程度にしておいたほうが、これが前面に出て来てしまうと。あとでまた戻るとして、3グル

ープへ。3グループが居ないので皆で一緒に考えていきたいと思うんですけども。ここのグループが楽しいのは、お店がいっぱい書いてあるんですよ、それで、高校生会議でやってくれた提案というのがあってそれに非常に似ていて重要じゃないかと思うんですよ。今度はこれは個別だけ。

○1グループリーダー

このグループは凄く具体性があるんですよ見ていて、だから聞いていても、逆にそれを入れれば住む人が付く、興味がわくというのが具体的に出たり、ほかの所は企業の誘致だとかおおまかにしか出ていないんですけども、そういう部分では吉野家が来てほしいとか、吉野家が来たら若者は行くんだなというのが単純に。だけど、そういう視点は大事だと思いますよ。

○ぎょうせい

吉野屋って牛丼だけど、今は牛丼だけじゃないですよね。そうするとイカ丼というのがあるのかなと思ったりしたんです、さっきイカってどうやって食べるんですかと聞いたのは。

だって吉野家が来なくなったら町のお母さん達が何人か集まってくれて、研究してくれればどっかのB級グルメにつながったり。

○1グループリーダー

具体的に出してもらえればイメージしやすいですよね。ただ、3グループで一転しているのは、夜景の見える場所というが、今までの華やかさとは全く反対の部分が出てきているんですよ、だから都会では絶対に見られ

ない部分。うちらで当たり前に見ているものがこれはたぶん都会の人から見れば、いい場所になるのかなという部分が見えます。あと、温泉旅館が来てほしいというのは単純に泊まる場所がないというところからだと思います。

#### ○ぎょうせい

これ物件の中では、さっき空き家いきなりマンションにはつながらないけれども、そういう意味では同じようなテーマが出てきていますよね。それからもう一つインフラの中でインターネット回線の中で、光ファイバの話。

#### ○1グループリーダー

この部分は今 ADSL が通っているので、その上となると光の部分。若者はやっぱりネットで映画を見たいとか、音楽を取りたいという部分を含めて考えると、インターネットがほしい。これが、高校の部分だとかの特色を出すにあたって、商業高校ですから、パソコン関係でもこれがある事によって今は出来ない取り組みももしかしたらできるかもしれない。という意味でインターネット回線の関係というのが出てきました。あと、言い忘れたところを一つ言ってもいいですか。

個人的にこれを書いたんですけれども、不妊治療への補助という部分、現在産みたくても産めない夫婦がおりますので、福島だからこうやって産めたんだという環境をつくりたいなと思ったのがこの不妊治療の全額補助と書いたんですけれども、当たり前で産めると思っている人がほとんど

ですけれども、欲しくて産めない人もいるわけですよ、だから他のグループにはないんですけれども、ここをしっかりとやってもらうことで少子化の部分にここは欠かせないと思います。だからこれも落とさないようにPRしておきたいなと思ひまして。

#### ○ぎょうせい

それと、ここもその教育の中ではなくかなり大きく高校も含めて、専門学校とかこういう学校がほしいというようなイメージ作りをしていけば、色んなことがアイデアとして考えられる。あくまでもこの3グループの人達で考えたのは、楽しく過ごせる町をつくらうということのようですよ。

#### ○1グループリーダー

吉岡海底駅の一般利用というのがあるよね、逆に言えばうちにしかない部分ですよ。

#### ○ぎょうせい

これはもう絶対に無理なの？

#### ○1グループリーダー

分からないですけれども、一般の人は降りてはいけません。

#### ○ぎょうせい

ようするに、それは乗降客が少ないからそういうふうに作らないんですよ、今の所は。

#### ○事務局

前までそこは止まっていたんですけれども、もともとそこは新幹線が通るようになって、避難所だとか何とかというように使う部分でもあったものですから、本来の使い方に戻すというような形、前まではまだ新幹線が

通るといのがまだ確定的じゃなかったんで、そこをJRの方で使って少しお客さんを降ろしてドラえもんワールドとかというのをやって見せていたりしたんですけれども、今新幹線が通る事になったので、そこは本来の使い方にするということです。

これは無理なんですよ、無理というか基本的に青森の方を今使っているんで、青森の方は乗り降りして上まで上げているんですよ、そっちの方を先に使ってしまうのでうちのの方は保守管理用の使い方をしてるので、一般乗降は許可が降りないんですよ、上に上がってくること自体が。保安上の問題だとかがあって、両方上げ下ろしは出来ないというのがあるみたいです。海底駅の利用もエレベーターを使ってやろうかという話もしたんですけれども、それもやっぱり防災マニュアルを変えなきゃできないとか、色々と難癖をつけられまして。結果的にはやりたくないということですよ、JR自体が、だから持っていっても無理ですね。

#### ○ぎょうせい

じゃあそれこそ、遠い将来の話へ置いておいた方がいいですね。じゃあ第5グループお願いします。

#### ○5グループ

リーダーがないので、代理ということで軽くですけども、お話ししたいと思います。5班は子育ての面の意見が多かったです。育児施設の充実ということで、一般の方が参加していたんですけども、その方の意見で旦那さ

んの給料だけでは生活するのが苦しいということで、子どもを預けて仕事に行けるような環境を整えてほしいということで、託児施設というのが出ていました。育児教室というのもあるんですが、これはどちらかということ子供に対して、子供が習い事など学習できる場所が欲しいという意見なので、子供に選択肢を増やしたいという事でこういうのが出ていました。医療の面でも小児科病院、産婦人科があればよいということで、産婦人科は妊婦さんが函館まで通うには大変なので産婦人科があればよい、同じように小さな子供を連れて函館等に行くのは大変なので小児科があればいいというのが出ていました。

定住促進ではイベントですね、合コン等の出会いの場があればいいということで、それに対する補助金があればそういう機会も増えるんじゃないかという話が出ていました。特産品ですけども、特産品としてもそうですけれども、働く場所として新しく工場があれば町からも雇用できますし、新しく商品としても売りに出せるからいいんじゃないかというのがありました。

#### ○ぎょうせい

ここで今議論した特産品なんですけれども、たぶんここはかなり大きなものを想定しているのですか？マーケットとして。そうではなくて小さなものですか？

#### ○5グループ

大きなものですね。

## ○ぎょうせい

なるほど、ここのグループで面白いと思ったものは、ここは子育てが前に来ているんだよね、他はどちらかというところと定住促進の雇用が表に出てきているんだよね。そうするとこのフォーラムとして、一つはどこか子育てがコアになった提案があると凄くいいと思うんですよね。分けられる話じゃないですからね、雇用と定住促進と子育ては、でもその中の柱にするのは雇用から攻めるか、あるいは子育てから攻めるかといったらここは子育てから攻めているという、そういう整理をしていくと非常におもしろいので、特に習い事など学習ができる場所が多いと良い、というのがないですか、こういうのと就労支援の中で中高生の職場体験時間を増やすというのは何もイカだとか昆布の所に行ったり、工場行くだけではないじゃないですか。だからこれがたぶん就労支援が子育ての方に入っていたり、考えていけばね。その整理の仕方が面白いのかなという気はしますよね。

あとやっぱりイベントで、商工会役場漁協、観光協会等との共催でと書いてあるのは、大変失礼ですけども、この町のイベントは全部共催なのかしら、この町のやり方として。

## ○事務局

ここはどちらかというところ、実行委員会形式が多いですよね。

## ○ぎょうせい

実行委員会形式、それはいいですよ。どっちかと言えば、あとは観光協

会主催か。

## ○2、4グループリーダー

役場の担当する課、実行委員会なりを抱えている課で主体的にやるという形ですね、お手伝いという形で漁組だったり各関係機関。

## ○ぎょうせい

住民団体が主催するイベントというのはないんですか？

## ○事務局

ないです。昔はやるべいかまつりってあったんですけどもね、そこの実行委員会で民間が主体となってやったんですけども、それが今は観光協会の事業みたいになっちゃったんで。

## ○ぎょうせい

イベントを観光協会だとか、あるいはどこか実行委員会でも固まったグループがやっている、申し訳ないけれども、大きな人数の居る町であれば、それでも色々なアイデアが出てくるけれども、小さな町でやっている、申し訳ないけれども、どんどん小さくなってくし、インターネットでどこかのイベントを調べるとこれはかなり大きなのを調べちゃうからうちでは無理よねと、なりかねないよね。そうすると、大都会でやっていることの逆手を狙っていくということが非常に重要です。

## ○鳴海参事

うちのイベントはどっちかというところ、町外向けのイベントって比較的少ないですよ。民間でやっていて町外向けのやつも若干ありますけれども、だいたいどっちかと言うと町内向け

が多いかな。イカ祭りだって帰省客用のイベントだし、カントリーは全く収穫祭になっているから。

### ○1グループリーダー

隣町の知内町はかきとニラを徹底的にPRするためのイベントです。うちはそこを徹底してないんです、だから外発信のものがありません。食だとかせっかく上がる水産物だとかをPRする場がありません。

### ○事務局

売り物がないというのもあるんですよ、だから女だけの相撲大会くらいかな、あと殿様街道ウォークとかは外向きだけれども。

### ○ぎょうせい

というのは、ここは一体的なイベントをやりましょうという提案だよ。それを出会いに変えればいいわけですよ。

### ○2、4グループリーダー

今まで商工会発信で出会いの合コン的なものとか、役場でやっていた前に1回か2回でやっていたやつとかをバラバラで発信していたので、それを皆でまとめて、それこそ実行委員会でも作ってやればいいと思います。

### ○ぎょうせい

この出会いというのは定住促進の出会いだよ。同じ出会いでも若者達の出会いというのはもうちょっと結婚を意識した出会いに近いでしょ。そこで結婚してくれて住んでくれば、子供が産まれるよ。こっちは僕の方でいくとちょっと意味は違って、出会

いというのは色んな人の交流、それから向こうの人達も寄ってくる、外向けのイベント、そういうイベントをここで実はイメージをしていて、この下のほうは今度合コンという言い方をしているから、さっきの他で考えたイベントをそういうのを整理していくと。でも、ここは子育てという柱でやっていくと、

### ○事務局

交流人口を増やすということですよ。

習いごとってでもそんなに、例えばそろばんとピアノと塾系ですよ。

### ○ぎょうせい

なぜさっき僕が都会と逆のことをやった方がいいかと言ったのは、都会は学童保育これが非常に困っているわけですよ、そうすると何か習い事させる場じゃなく預かる場になっちゃっているわけですよ、でも少ない子供達を預かるのであれば習い事の場になるんですよ、だから習い事の場を学童保育の場にすればいいと考えていくことが、住民側からすれば重要で行政から考えると学童保育なんですよ、これも僕が東京で常に文句を言っていて怒られるのが、今の国の基準で言ったら小学校3年生で切っちゃうわけじゃないですか。あとは、自分でやるわけじゃないですか、お兄ちゃんが4年生で弟が2年生だったら分けちゃうわけじゃないですか。こんな馬鹿な学童保育ないでしょうということなんですよ、そうするとそうではなくて子供の溜まり場を作るということ、

その溜まり場を皆がみたらそれは学童保育だと考えればそれは都市じゃ出来ないことが出来るという可能性が凄く大きいわけですよ、だからやっぱりここに考えてくれていることは凄くいいことを考えてくれているから、よく言う逆転の発想ですよ、大都市でやっていることの逆を行くというように考えると短期的にやれることがいっぱい出てくるんだろうと、そうすると学童保育だって、そんなにお金は高く取らなくたって、習い事の場に多少のお金を払うわけですよ、そこでも預かってくれていると少し見ていてくれればお母さん達が外にでられるとか、これをもっと広げれば3歳児以上だったら保育所に行かなくたって、そこで習い事をしてくれるという、これも極端なことを言って、そういう人がいるかどうかは調べなければいけません、この福島町で今も第一線から退いてる高齢者の方々にそういうかつての知識を持っている人がいれば、読み聞かせだってなにも若い人がいなくたっていいわけですよ、英語だって何も現職の講師が教えなくたっていいわけですよ、アルファベットから教えればいいわけだから、そういう色々なことが可能性として、福島町だからできることって皆が一生涯懸命考えているんだから、なんか提案はそんな細かいこと書かなくてもそういう発想で書いていくと、次のことが見えるかなという気がするんですよ。

○事務局

---

結構小さくなっていくと出来ることっていっぱいあるんですよ、僕は福祉だとかを経験すると、今まではやっぱり大きい単位でいくと絶対出来ない、お金がかかりすぎるとか色々な問題がある。だけど、単位が例えば40のものが20になると出来ることっていっぱいあるんですよ、だからそういったものを反対に、小さくなることのメリット性を結構手厚く変な話だけれども、できるんですよ。

○ぎょうせい

---

たぶん、行政の職員の方々だからどうしても行政からくる、でも行政から考えるんだったら国がやっていることの逆手をとったら、今なんで国がコンパクトシティなんて言っているんですかと、なかなか上手く進まないけれども、やっぱりコンパクトシティというのを皆やっているわけですよ、ここは、面積は広いけれど、色々なことが人の地区で考えれば始めからコンパクトシティになっているわけだから、そこに必要なものをどう妥協するか。短期的な人の出会いを増やす、これを考えていけば出会いをするにはもうちょっと腰かけるイスがいるよね。子育てということから出会いを考えていくけれども、色々なことを作っていけば、この提案書が少し面白くなるのかなという気がするのですが、勝手に話を進めて申し訳ない。じゃあ6グループ行きましょう。

○事務局

---

6も居ないです。

○ぎょうせい

---

これは今回面白いなと思ったのが6の中では、雇用の中でも町営企業の設立というのがあったんですよ。それを聞きたいなと思っていたら、居なかったから残念ですね。提案書の中には直接町営企業というのは直接出てきてはいないんですけども。ここは飲食店の中で有名な居酒屋さんとか書いてある中のその下に、お惣菜屋さんとかカフェだとか出会いの場作り、の話があるんですよ。それからちょっと別なところに入っていたので飲食の所に入れてほしかったんですけども、B-1グランプリに出られる料理、こういうのはそんなにお金もかかる話でもないし、時間のかかる話でもなくて皆がやる気で知恵を出せば。それで娯楽施設の中でも真ん中辺りなんですけれども、ラウンドワンはともかくとしても、若者層のコミュニケーションの場があまりないというのが公営市場の話をしました、面白いところが1階が惣菜屋さんとかコーヒー屋で真ん中がイカ釣り場だとかそこでお茶を飲めたりなにか食べる場所があって、2階が子供達のサロンをやっているところがあるわけですよ、でもそんなのを含めていくとカラオケボックスだって、もともとのカラオケボックスなんて皆さんご存知の通りコンテナですからね。今はカラオケボックスが変わっちゃったけれども。そういうふうに考えると簡単に出来るはずなんです。ここで若い人達の意見の中であったのは、大人はスナックみたいなのところでカラオケをやるけど、

若い人達はそういう所にいかないからそういう所じゃないカラオケと言っているわけですよ。

じゃあいらっしゃるところに先にお願ひしましょうか。8グループですね。

#### ○8グループリーダー

やはり大まかな話になっていきます一番上にくるのはやっぱり全部つながっている円というふうな感じでイメージしていたんですけども、まず娯楽が一番上にあるんですけども、これは単純にグループで話をしていて一番意見がどんどん出てきた部分でしたので一番上に上げました。あとの部分は基本的に自分達のグループの大まかな考え方として、新しくものを作るのは厳しいだろうという認識があったもんですから、今の福島にあるものを使って何が出来るのかというのを、それと今福島で、実際私は福島町出身ではないので、福島に住んでみて特に住環境のほうなんですけれども、なにか不満なことがあるかということで意見を出し合って、まずは観光のほうなんですけれども、フェリー乗り場に昔一時期フェリーがあったんですけども、今は使われていないので、そこが何か使えないかということとか、あとは他のグループでもあったんですけども、特産品はあるんですけども、特産品を実際に食べる場所というのが少ないものですから、そういうふうに食べる場所があればいいなというのです。あとはビーチで花火というところは去年横綱海峡ビ



一チができたんですけれども、火気が使えないということがあったものですから、火を使って食べたりそういうキャンプが出来るような場所があれば、定住とは直接の関係はないかもしれないんですが、観光で来てみていいなと思ってそういうところから新しい発信ができればいいなということであげてみました。あとは仕事関係なんですけれども、林業の仕事と漁業の後継する場合の補助というふうにかなり漠然とはしているんですけれども、一応グループの中で1名、前に農林課に務めた子がいまして、やっぱり自分も林業の方をやっていただけけれども、そういう若い人が少ないという感想をもったものですからこういうふうにあげてみました。あと、漁業の公共の場というのがあるんですけれども、福島町の場合は漁業がメインの町ですけれども、他の町村例えば八雲の落部地区とか、あとオホーツク海のホタテの養殖等で年収1000万とか、1500万とかでその地域は他の地域に比べて人口の減少も少ないと、かつ子供の出生率も他の地域と比べて高いというふうなのがあったものですからここであげてみました。医療のほうなんですけれども、他のグループと同じような産科がないというのが一番不安だという意見があったものですから、まずこれを一番目にあげて、夜間救急というのがここは診療所はありますけれども、夜間病院がないのであった方が一番いいですけれども、もしない場合だとそれに行きや

すい道路とか、公共交通機関ですね、基本的に福島の場合車がなければそういうこともできない状況があるので、そういう病院に行きやすい公共交通機関を確立してほしいという意見がありました。住環境の方ですけれども、先ほど空き家という話もあったんですが、自分が住んでみて空き家とか部屋数が多いとか、やっぱり自分も部屋を探すときに1ルーム、2ルームとか、そういう規模の部屋が第一希望というか、他の町外から来ている人もそうなんですけれども、大きい家じゃなくて1ルーム程度の部屋でいいからそういうところがあればいいというふうな要望があって、実際その部屋を探すのも結構、役場の場合だと職場の人のツテとかそういうのがあったんですけれども、まるっきり新規の人の場合そういうような情報をどこから聞き出していけばいいのかという情報提供の場もないものですから、2点目の不動産屋ということをおげました。

あと、水洗トイレ下水道ということなんですけれども、公共下水道が福島町はないものですから、やっぱり都会とかそういう人にとっては水洗化のトイレが必須というようなイメージが大きいですし、将来的に後者のほうは逆に和式トイレだと管理が厳しいというような例もありますので、水洗化のトイレですね。あと、街灯が少ないということなんですけれども、やっぱり今最近人が減っていて夜道を歩くのが怖いというような意見もありまし

たのであげました。高速道路は先ほどの医療と若干かぶる部分があるんですけど、やっぱり車が基本的に必須な町でありますので、そういう走りやすい交通環境をお願いしたいという意見がありました。子育ての部分なんですけれども、2点目の小児科診療所というのは医療とかぶる部分もあると思うんですけど、今福島の場合だと小児科の部分、お医者さんがいなくて函館だとか、他の町の方へいかなければならないと結構そういう移動がある意味負担になるということでそこをあげました。

あと、子育て補助金ですけどもこれは本当に願望ですね、お金があればいいなというくらいのそういう意見でした。あと、小学生の道外研修ということなんですけれども、これは最近はどうか分からないんですけども、小学生とかそういう時に北海道の外に出るといのは結構インパクトが大きいというイメージがありますので、それこそ海外とかそういう例もあって、小学校のうちに東京とか沖縄とかに1週間とか2週間研修が出来るとなれば大きいインパクトを与えられるんじゃないかというようなこれは本当の願望というか希望ですけども、そういうのがあったらいいなということであげました。あと、先生の方からP9の方ですが、若者定住のほうでどういようなイベントがあればということと、誰が主催するんですかとあったんですけども、これはうちのほうで考えて意見が出なかった

ものですから、P17にはあげなかったんですけども、先ほど言ったとおりイベントはあるんですけども、自分達が参加していないから、ないと感じているのかなという話がでていました。

#### ○ぎょうせい

---

2回目の時にアンケートの概要をまとめたものを差し上げましたよね。あの中にも高校生アンケート、自分達が参加できる若者向けのイベントが少ないという意見が多いんですよ結構。そういう人たちがイベントを企画するということの提案があってもいいんじゃないかなという、やっぱり既存の団体ではなくて、もしかすると高校生中高生でイベントを自分達で作ってもらおう。あと、ここの姉妹都市は何処ですか？

#### ○事務局

---

今あるのは、長野県の本曾町と長崎県の北松浦ってもともと福島という所なんですけれども。その2町ですね。

#### ○ぎょうせい

---

じゃあそういう所ではなくて、もっと大都市の小学生の研修だったんだ。道外研修というのは。

#### ○8グループリーダー

---

そうですね、そこは今も2年~3年に一回はやっているものですから、それ以外ということですね。

#### ○ぎょうせい

---

それからこの住環境の中で一人暮らし用の安いワンルームと書いてあるじゃないですか、ワンルームでいい

んですけれども、例えば空き家でルームシェアするように改築して使うなんていうことは可能性ありますか？

#### ○7グループリーダー

それが職場の寮とか下宿みたいな形であれば別かもしれないですけども、自分だったら嫌だなと思います。

#### ○ぎょうせい

なるほど。今の福島の若い人達はやっぱり恵まれているんだよ、僕ら都市で生活をしている人は若い人達は皆ストレスを抱えていてルームシェアが凄く流行っているんですよ。ようするに仲間同士で話す場がないから皆ルームシェアかペットに走っちゃうわけですよ、ペットに走るよりルームシェアの方がいいという、若い人達は。それは高齢者で言ったらグループホームの発想ですから。でもここでは合わない、ワンルームやっぱりワンルームというイメージですか。

#### ○7グループリーダー

そうですね。

#### ○事務局

空き家でいいの？新しい定住促進住宅じゃなくていいの？

#### ○1グループリーダー

もちろんそれもあつたらあつた方がいいですけども、基本的に空き家をこのままにしておくと、景観が悪くなるのでどうにかしなければならぬという。その約100件というのは、この間商工会の会長さんがどれくらいあるかと聞いた時に、約100件くらいあるのではないかという話をし

ていたんで、ここは北海道で雪も積もるので何年もすれば潰れてしまうわけですよ。それがそのままの状態ではやっぱりよくないので、だからそういう面では空き家をなんとかするための対策として、さっきのリフォームじゃないですけども、そういうことも考えなければならぬと。もちろん若い人にしたら新しければ新しい方が絶対来ます。それは間違いないんですけども、それも含めた中で町の景観も保ちながらという部分では、空き家を何とかしなければという問題じゃないですか。

#### ○8グループリーダー

たまたま、自分たちのグループでは一人暮らしが多かったのでワンルームという話になったと思うんですけども、これが例えば子供が居てとか車を持ってとかなると、もしかするとそういうふうなリフォームという一軒家の方がいいという需要はあると思うんですよ。

#### ○1グループリーダー

家族でくる人達は、こちら辺はやっぱりマンションよりは一軒家の方が好むんですよ、周りも気にしなくてもいいというのがあるので。

#### ○ぎょうせい

でも若い人達は出会いの場がほしいんでしょ。そうすると、今6つの提案があるじゃないですか、それから1回目からずっと読んでいくと、やはり始めに定住促進と子育て支援と言ったから雇用、まず働く場が重要だというのがありましたよね。その中には働

く場と重要なのは出会いの場、それから子育て支援の方では要するにどちらかと言うと産みも問題があるけれども、これは病院の話があるけれども、もっとそうではなくて子供達の居場所という感じだね、それが出来ればお母さん達も外に出られる可能性があるということで整理をしていくと、そういう短期的に取り組んでいくような雇用の場づくりとか生活の場づくりと、それから子育て支援という環境に少し整理をし直した方が、整理というのはこの6つ。とりあえず私が思うのは、6つのこのものを提案書として作るよりも、これを例えば一つは雇用を柱にして定住促進をする、どっちもつながるんだけど、片一方は子育て支援を中心にして6つのもを合体させて、それで絵をどういうふうにするかといくつかパターンを作って、この項目は全部なるべく入れていく、近場でできるものと、将来的にやらなければいけないものと。それから申しわけないけれども、これは絶対こんなことは難しいよというのは外させてもらえたらありがたいかと、入れてもいいんですけどもね、提案だからどうしても強ければ。もう一つは、こういうものを若い人たちが中心になってやっていく時に、補助金だとか支援金というのはできたらあったら望ましいものとして置いておいた方が整理しやすいんじゃないかなというふうに思うんです。どうですか、そういう整理をするよりやっぱり6つは6つ、今付け加えたようなことを

入れながらこのまま提案してほしいというふうに皆さん方が思うか。

#### ○7グループリーダー

---

結構つながる部分、同じようなところがあったので、それでだいたいそれはさっき話したように短期的、長期的という感じの方が逆にそれを見る人のことを考えれば見やすいですよ。

結局同じ物も結構ありますし。

#### ○ぎょうせい

---

それから、今発表してくれたものをつなげるとかなりボリュームが出るよね、それで実現性が高くなってくじゃないですか、だから何も雇用と子育てとしなくてもいいんですが、そういうふうに今皆さん方が考えて例えば二つにするのかこういうパターンで三つくらいで整理して下さいという何か要望をいただければ、とりあえずのたたき台としてこれをベースにした絵を書き直してみますから。せっかくこれだけきちんとやっていたいたものを本来は6つ出すべきなんでしょうけれども、重なっている部分がいっぱいあるから、相手に説得性を持たせて次に実現性を高める為には同じものは同じ所にまとめていくつかにパターン化しだしておいた方が、次の人たちが考えやすいと思うんですよね実行して行こうという時に、もちろん皆さん方が中心になって実行して行くことが一番いいわけですけども。それと、産婦人科、小児科ここは町の具体的な何か方針はあるんですか、医療に関して。

#### ○事務局

---

基本的にうちは、医療は公設でやる予定は全くないです。あくまでも民間の中で来てくれる病院に対しては施設補助はするけれども、経営はしないという昔からの方針なんです。

#### ○ぎょうせい

子育て支援とか定住促進というときに、子供を安心して産み育てられるというときにはどういうふうに言っといたらいいですか、要求はあるわけですよ。

#### ○事務局

うちとしては、町内ではクリアできないのであくまでも近隣の中で函館がありますね、そこへいかに安全に連れて行くか、助成して応援をしてあげるかということですよ。だから政策として展開できるのは、函館に通うのを応援してあげる感じでしょうね。

#### ○ぎょうせい

そうすると、中心になる例えば函館とあげちゃって、そこへの交通支援というふうに一つあげておけばいいですねとりあえず。お金プラス緊急輸送じゃないけれども、例えばそういうときに消防と連携をして何をするか、例えば救急車でしょ、その時に法律的にできるかどうかは別として、救急車が函館まで行っている間にまた別のことがあるといけないから、その何か組み合わせを考えていけないといけないわけけれども、そういう手段を考えてほしいという提案をしておけばいいのかもしれないですよ。

もう一つですけれども、最終的に取りまとめて提案をするときのこの形、

この中で二手にまとめるということでご異議がなければどうでしょうか、町のほうとしては雇用を柱にしながら周辺を固める。

#### ○事務局

みていると、色んなところがありますけれども、中心になっているのは3つくらいなのでそれで先生の言ったもので僕はいいと思います。

#### ○ぎょうせい

いいですか。その時にいくつかの切り口で雇用が中心にあって、その周りにつなげていって生活環境を全部作って町という姿を描く場合。それからもう一つは、こういうふうにやってイメージをつくるという二つくらいの形で、これを私が整理をすると。これをベースにきちんと重ねあわせるということで、提案の方式としてこの形としてはそれでいいですかいったん、作ってみたのを見ていただくという前提で。その時に考えておいてほしいのは、テーマを6つあげるわけにはいかないから、このテーマを合体したような形のキャッチフレーズを何かイメージできると、この6つの中からこれとこれにした方がいいというのが最終的に決まらなければグループリーダーの投票で決めちゃってもいいかな。

#### ○事務局

一応元々のテーマが最初の計画の時に福島アイランドでしたっけ、仮称になっていたの。

#### ○ぎょうせい

それは仮題で置かせてもらったの

がアイランド福島だったんですよね、これは福祉計画かなんかが使っているんですよね。じゃあこのテーマで副題を何か二つ付ける事にするか、このテーマで二つともいくか、あるいはどこか変えて、あんまりキャッチフレーズが計画や提案書によって違うのはよくないですよね、一つの方が皆の求心力が。

#### ○事務局

一つとしてはまとまりがあるから自分はいいのかなと思うんですけども、これにしたいとぜひなにかあるのであれば。

#### ○ぎょうせい

じゃあいったんそのアイランド福島で、置いといてこれもまた私がたたき台を下すまでの間に、皆さんに考えておいてもらうということでもいいでしょうか。それで、全体の構成については町に協議をさせていただかなければいけないんですけども、一番最後のページのところに、このフォーラムの目的と趣旨みたいなところで、簡単に数行で述べて、福島町の現状と課題というのは皆さん方がさっき言ってくれたこういうのがないから、例えば住む場所がないから定住しにくいというようなこと、それから数字的には人口減少の話は若干入れますけれども、そういうその現状。それから、一番困るのは次の世代の人達が外に出て行っては困りますから、高校生はこんなことがほしいということを言っていたと、皆さんに提示した資料の中で書くと、それから今度は目指すべ

き方向ですから、ここに書いてある6つのグループが議論してくれたものを整理すると、その時にその前のページにある、これは大体目指すべき方向に近いんですけども、雇用就労関連がどういったものか、それから教育文化、生活福祉関連というようなことで目指すべきこれを、皆さん方の提案書の中から言葉を選んでくるということで、整理をさせていただくと。それで、福島町の目指す姿ということで6つのグループの提案を二つに整理をすると。提案事業を二つにこの中に書いてあるものを整理して集約すると。その時に提案事業でも、ばらばらにありましたよね、短期に実現できそうなものと時間がかかるもの、同じこのグループの中でも。だから短期的に目指すもの、中長期的に目指すものということで、同じグループの中で少し整理をすると。それから、町民と行政の協働ということで今回は自分達で出来ることを中心にとりあえず進めて、実際実現するにあたっては、行政と住民が共同をするという形をお願い提案をするという提案書にしたいと思えますけれども、皆さんのご意見はいかがでしょうか。それについて駄目だしは、あとで作ったものを事務局で見させていただきますけれども、その前にフォーラムの方針をまとめるのは皆さん方の意見をまとめて、町にとりあえずたたき台を出すという形になります。どうですか？その時はぜひこういうものも入れておいてほしい、ここにはこういうものを入れておいてほしい

というものが何かあれば、一回出したときに見てここに手を加えてもらえばいいんですけども、皆さん方から。

これはあくまでもフォーラムからの提案だからたたき台はこの形でつくって、それをきちんと事務局で整理をしてもらって意見をもらって整理をするということがいいんじゃないかと、その時に町当局はどう考えるかということで修正はありだけど。そういうまとめ方でいいですか。

#### ○事務局

いいです。それしかたぶん、まとまりの仕方の部分がイメージは分かるんですけどもどういう格好かと見えていない所があると思うので、一回たたき台という形で出された方が見やすいという部分はあると思いますので、その方がいいと思います。

#### ○ぎょうせい

それでは、いったん今まで皆さん方が出していたものを整理して二つに固めてみるということにさせていただくというふうにします。なるべく私の思いは入れないように、忠実に皆さんの思いを書き込んでいきたいと思いますので。

#### ○事務局

自分達もきちんとこれから行動に移すイメージもあるはずだから、そのところは先生がまとめるものと自分が思っているものをちゃんと描いておかないと、全く先生の言いなりになる可能性があるんで、そういうことにはならないように、きちんと自分達の思いが入っているかどうか、先生が

ちゃんと拾ってくれているかということが自分の中でイメージをしておかないと、全く残像もなくやってしまうと、先生の出してきた姿だけが優先して一人歩きをするので、そういうことがないようにしてほしいなど。

#### ○ぎょうせい

それから、もう一個追加で教えてください。ずっと気になっていたんですが、この町は未婚者が多いんですか？

#### ○事務局

多いです。それは前の地域福祉計画を作ったときでのデータの中でも出ているんですよ。

全道と比較すると、特に男性は20代30代40代が著しく多いと。

#### ○ぎょうせい

やっぱりそれは、収入ですか。

#### ○8グループリーダー

ここは出稼ぎが多いんですよ、短期間や1年単位で仕事を移ってしまうというふうな形式の職業の人が多いんですよ。

#### ○ぎょうせい

なるほど、それじゃあやっぱりここに雇用の場を作ることが何はともあれ。

分かりました、今申しあげたようなことで整理をさせていただいて、私の方は年明けにお出ししますので、あとは相談しながら最終はまとめるということで、もしよろしければ私の整理能力に少し期待をさせていただいて、駄目だったらあとで駄目だしをどうぞお願いしたいと思います。

#### ○事務局

今の段階で廣地先生の方で、年内に今日皆さんから出た意見をまとめていただいて、年明けにデータの方をもらいますので、それはまた集まる機会というかそういう部分も必要であれば設けたいと思うんですが、今の時点ではないので来たらデータはグループリーダーの方に郵送なり、回覧なりして意見をもらう形で修整が必要という事であればまた再度場を設けてその場合は企画グループと皆さんたちだけの場にしたいと思います。それで設けて、出てきた部分の内容の提言を1月の現時点では26日下旬の木曜日に町民フォーラムの参加者全員と町づくり推進会議の委員16名を集めて、次年度は町づくり推進会議の方でやりますので、その提言の説明を事務局、私の方から説明させていただいて、リーダーの方々にアドバイスというか、補足説明をしてもらう格好で、フリーディスカッションのような形にはなると思うんですけども、一応そういう格好で考えておりますので、スケジュールとしていただきたいと思います。先立って行う業務については、1月に私のほうからいただいた資料を皆さんへ情報提供しますので、それで作業の方に入りたいと思います。事務連絡になりましたが、以上です。

#### ○企画 G 参事

---

送るときはリーダーだけじゃなく、全員に送った方が、せっかく皆一生懸命にやってくれたんだから、その人達もまともになくてもいいから経過だけでも、こんな感じに進んでいます程

度で話して、最後に意見をもらえれば、またしばらく間があいてしまうから。リーダーは今言ったような形で流れていって、その他の人達はそういう形で今頑張っていますという感じでいいと思います。

#### ○事務局

---

わかりました。そういう格好でよろしくをお願いします。

それでは以上で今日のグループリーダー会議はこれで終了したいと思います。長時間ありがとうございました。